



▼ ごあいさつ

日頃は**根津グループ**とお取引頂きまして、誠にありがとうございます。
今年は記録的な猛暑で、多治見と熊谷で40.9度と74年ぶり国内最高気温を記録しました。
人間も大変ですが、パソコンやサーバーなどの情報機器も熱に大変弱いのです。
今回のNEZU システム通信は、「温度とパソコン・サーバー」についてお届け致します。

炎天下の車中

パソコンの動作に悪影響を与えるものとして、一般的に**熱・高湿度・振動（打撃）・静電気**が挙げられます。この夏の猛暑、涼しい車で移動される方も多いのではないのでしょうか。しかし涼しいのはクーラーをつけている間のみ。エンジンを切り、クーラーが効かなくなった車内は、パソコンにとって熱地獄です。

炎天下の車内温度は58度以上、ダッシュボードに至っては80度以上になります。一般的なパソコンの保存時の仕様温度は約マイナス10度～60度 ¹、パソコンを置いておく場所によってはあっという間に仕様温度を超えます。駐車する場所を日陰にしたり、直接日光の当たらない足元やトランクに置いたり等の工夫が必要です。それでも外気温以上にはなるので、良くない事に変わりはありません。一番良いのは持ち歩くことです。

¹ 数値はメーカーにより異なります。お持ちのパソコンの説明書を参照して下さい。

また、炎天下の車内は、パソコンだけでなく使い捨てのライターやスプレー缶(消臭剤等)が破裂する可能性があります。特にスプレー缶は破裂すると火災の可能性もありますので注意が必要です。



暑さが苦手



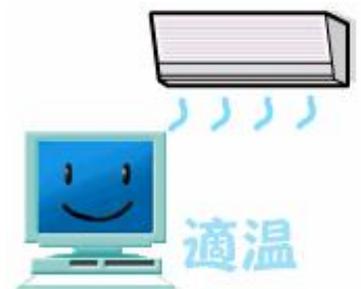
パソコンやサーバーといった情報機器は、起動させているだけで多くの熱を発生させます。しかしこれらの情報機器は、熱に大変弱い性質を持っています。つまりパソコン自らが発生させた熱で、自分自身を壊してしまう可能性があるということです。またこの猛暑、自ら発生させた熱だけでなく、外気温によっても大きな負荷を与えられているのです。

一般的なメーカー資料によると、外気温25度の時の平均故障間隔 ²は、約180,000時間、40度の時は90,000時間だと言われています。要するに、25度で稼働させているパソコンと40度で稼働しているパソコンでは故障する間隔に倍の開きが出てくることになります。

² システムや機器が故障せずに動作する時間の平均。ただしメーカーごとに測定方法が異なるため現実的な数値とは言えません。

以下のようなちょっとした気遣いで情報機器内部の温度上昇を防ぐことが出来ます。

- 情報機器の周りにはなるべく物を置かないようにして、風通しを良くする。
- パソコンの通気孔やファンに付着したほこりを取り除く。
- 直射日光など熱の干渉を受けるところに置かない。
- エアコンの効かない部屋での使用を避ける。



パソコンの熱中症

暑い環境でパソコンを使用していると突然動作が止まってしまうことや、いつまで待っても処理が終わらないという異常動作をすることがあります。一旦、電源を切り、パソコンが十分に冷めるまで待ち、再起動して問題がなければ、原因は熱の可能性が大きいです。このような異常動作には**発熱対策が必要**です。ノートパソコン用には、吸熱ジェルを封入したシートやファンなどが付いた冷却台などがあります。これらを購入し、利用するのも良い対策ですね。

休日の事務所

前章の通り情報機器は、熱が大変苦手です。データセンターやサーバールームで24時間温度管理されている場合は問題ありませんが、通常の事務所でサーバーを設置している場合は、空調が停止している休日の事務所温度も注意が必要です。一般的なサーバー動作温度は、10度~35度³です。今年度の猛暑では、冷房なしでサーバーが正常稼動することは大変困難だったことでしょう。

³ 数値はメーカーにより異なります。お持ちのサーバーの説明書を参照して下さい。

猛暑の休日に一度事務所の温度を測ってみては如何でしょうか？ これからも厳しい残暑が続くとされています。人間も、情報機器も体調管理・機器管理を行ってこの夏を乗り切りましょう。

編集後記

こんにちは、情報システム事業部の樋口です。

8月11日に弊社、八潮事業所（埼玉）で工場パソコンの設置作業をしました。

当日は、やはり猛暑で工場内の温度は37度を超えました。大量の汗をかきながら作業を続けましたが熱中症、脱水症状になってはいけないと思い、水を飲みながら作業を続けました。

作業は無事終わり、脱水症状にもならず「ほっ」としました…が、後日インターネットで「**熱中症**」を調べてとても驚きました。



【熱中症・熱痙攣】

原因 大量の発汗後に水分だけを補給して、塩分やミネラルが不足した場合に発生する。

症状 突然の不随意性有痛性痙攣と硬直で生じる。体温は正常であることが多く、発汗が見られる。

治療 食塩水の経口投与を行う。

水分を十分に摂取すれば熱中症にはならないと思っていましたが、私が取った対策では熱中症の起因になることがわかりました。熱中症や夏バテにならないように注意して、爽やかな秋を迎えたいですね。

発行：根津鋼材 株式会社

住所：〒116-0014 東京都荒川区東日暮里2-2-3 (TEL)03-3805-5555

メール：hp_master@nezu-g.co.jp ホームページ：<http://www.nezu-g.co.jp/>

発行人：根津訓光 / 監修 樋口良成 / 編集長

編集：情報システム事業部

NEZU システム通信に掲載された記事の転載はご遠慮願います。

このメールマガジンは、弊社とお取引があり配信依頼がありましたお客様にのみ発行しております。配信中止の場合は、お手数ですが hp_master@nezu-g.co.jp までご連絡ください。その際には、御社名、御社（配信先）メールアドレス、担当者様名を明記くださいます様よろしくお願ひ致します。